

高精度プレス金型部品を製造 難削材加工にも対応

海外
発注可
納期
相談
コスト
相談
試作可
小ロット



本社外観

業務内容
多品種・小ロットが得意
3次元複雑形状もこなす

「酒井製作所」は自動車や産業機械向けのプレス金型部品の加工をメインに事業を展開。多品種・小ロットを得意とし、3次元の複雑形状部品などの切削加工も高精度にこなす優れた技術力を持つ。自動車向けではクラッチや安全装置の構成部品用の金型部品などを中心に製造し、売上げの約80%を占めている。産業機械向けには、金型以外に食品加工機や薬品製造装置のコア部品、半導体装置部品の切削加工なども行う。同社の充実した加工設備と、精度要求への対応力は顧客にも高く評価されている。

強み
焼き入れ処理後の
高硬度鋼材を切削

金属加工の分野で、焼き入れ後の鋼材は高硬度の難削材として知られている。同社では高硬度の鋼材加工で高い精度を誇り、生産のリードタイム短縮にもつなげている。熱処理後の加工では、熱による素材の歪みに起因する精度低下を抑えることで仕上げ工程も省けるため、生産の効率化に大きく貢献。ロックウェル硬さ60までの鋼材については、 $\pm 0.01\text{mm}$ の寸法公差を保証する技術力で顧客の要望に込えている。

また、扱う金型部品は月平均200アイテムにおよび、研削加工するものは寸法公差 $\pm 0.01\text{mm}$ — $\pm 0.005\text{mm}$ を保証。平成30年11月には新たにNC（数値制御）治具研削盤を導入し、技術に一段の磨きをかけている。

設備充実
高速・高精度のMCを保有

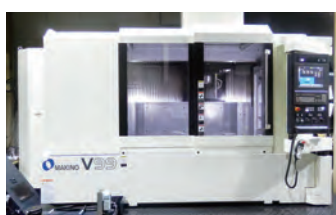
設備は複数台あるNCマシンングセンター（MC）をはじめ、NC旋盤、NC横中ぐり盤、

NC治具研削盤、NC放電加工機などさまざま。工作機械だけで20台近くを保有しており、3次元測定機など検査機器も充実している。これら設備の中で特徴的なのが、（株）牧野フライス製の高速・高精度の立形MC「V99」で、酒井紀博社長は「この機種を導入している中小企業は、大阪府内でも数社だろう」と強調する。同社が擁する熟練者の制御技術とともに、このマシンの存在が切り札となり、受注に好影響を与えている。

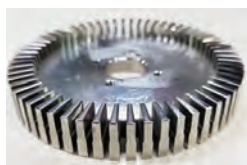
今後の展望
海外拠点の受け皿設け
人材を有効活用

人材不足への対応策としてベトナム研修生を受け入れ始めたが、3年後には帰国してしまうことが多いという課題を解決するため、平成26年にベトナム・バクニン省で100%子会社を設置。現地での受け皿を整えた。国内で生産管理や機械加工を学んだ技術者を配置することで、国内同様の品質を維持している。

ベトナムの子会社は現在、日本で手がける金型部品の前加工や、日系進出企業向けの切削部品の加工などを行う。海外でも国内と同様の技術を提供できることが特色で、今後は国内が高付加価値品、海外が切削部品に特化するなどのすみ分けを検討。海外で日系向けの取引拡大を図っていく。



牧野フライス製高速・高精度MC



安全装置部品の加工サンプル

当社の歴史



昭和42年に大阪府東大阪市で創業した「酒井金型」が前身。金型製作を皮切りに、50年余りの長きにわたって高精度プレス用金型や、これらの部品加工に一途に取り組んできました。切削から研削、検査、出荷に至る一貫体制も強みです。今後も高精度を突きつめ、顧客が求める以上のものを提供していきます。

代表取締役 酒井 紀博さん

<http://www.sakai-ss.jp/>

主な事業内容

精密金型部品加工、精密機械部品加工、精密治具の製作

主な取引先(納入先)

自動車部品メーカー、産業機械メーカー、半導体製造装置メーカー

●住所

〒571-0073
門真市
北葉本町36-7

●TEL 072-882-5855

●FAX 072-882-6267

●創業 昭和61年10月

●設立 昭和61年10月

●資本金 1,000万円

●従業員 16名